

谷戸の風

寒空

山内 静夫

鎌倉の冬は暖かい。樹木が色づくのは十二月に入ってからだ。その私が生淫決して忘れない寒い冬の日がある。

昭和三十八年十二月十二日、私は東京で自覚めた。前夜、私はいつものように飲み疲れて、神田明神下の料亭「新開花」で小津組スタッフの親しい仲間Aさん、Sさんと



木版画 藤本宿

文学つれづれ

赤羽根龍夫

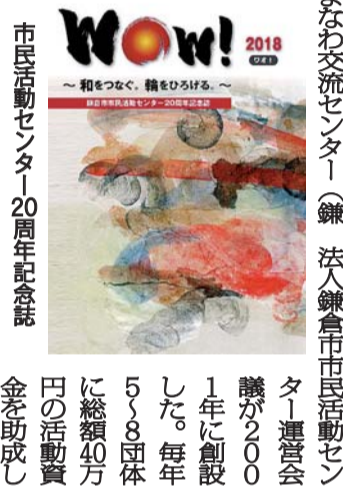
前回述べたように田植えの晩には一種の性的解放が行われ、早乙女は田の神としての翁を迎える本来の姿から村の若い男と結ばれることを期待する村の娘となっていくのである。

それでもやはりその底流には田植えが神事として受け止められていたのであり、そこにウナリの問題がある。「ウナリおなり」とは田植えの場に昼食を運

鮮やかなブルー一色であった。数日前から病状は思わしくなかった。今日か明日か、誰もが無言だった。私たちは冷え切った病院の廊下に唯じっとしていた。十二時四十分その時は来た。ただ涙が流れ落ちるだけだった。そこから後は、別の時間が流れた。

杉村春子さんが駆けつけてくれた。声をかけられるのも憚られた。親しい方の誰もが悲しみを心の中に抑えかねていた。冬の日暮れは早い。暮れなごとする夕日の中を先生の御遺体をお乗せした車が鎌倉へ向った。東京の街はもう闇に包まれていた。私は先生に最後まで付き添って先生の車に乗せて貰って帰った。

北鎌倉の自宅は、スタッフたち皆の手で明るくの問題は、もはやかれこれ論議する必要がなくなっている。こうした日的大がかりな農耕儀礼の中に、人間の想像をも



市民活動センター20周年記念誌

設立20周年 百万円助成と記念誌発行

市民の寄付により市民倉庫台で開かれ、写真活動団体を助成する「NPO支援会」が、8事業に総額104万3千円の助成が決まった。

開審査会が11月3日、たまなわ交流センター(鎌倉市)で開かれ、NPO法人鎌倉市市民活動センター運営会議が2001年に創設した。毎年5〜8団体に総額40万円の活動費を助成し



記録「製本化事業」湘理会「鎌倉」紡ぐもの「プロジェクト」をくぐる鎌倉「ハイキングコース案内板設置」鎌倉文化の森

記録「製本化事業」湘理会「鎌倉」紡ぐもの「プロジェクト」をくぐる鎌倉「ハイキングコース案内板設置」鎌倉文化の森



鎌倉商工会議所

の女性の名であったが、田植えでは特に飯炊きをして、巨飯を田植えに運んでいくヒルマモチ(巨飯持)の役である



豊松の大山供養田植え『大田植と田植歌』牛尾三千夫著(岩崎美術社刊)より

各地におなり役にあたる女性はその地から迎えてこなければならぬという伝承があるのも特におなりを神聖視したためであったと思われる。先ず今日のおなりさま様はどちから御座る峠の先の米子の町のまん中程なるよい姫様をおなりと頼む、十二の単衣を上から下へひらりと見せて

古書 花 林 花 古書 花 林 花 古書 花 林 花

漢方薬専門薬局・漢方処方調剤 大船の漢方薬 大船漢方堂

商工業優良従業員 谷則子(渋谷商店) 中島納(中島製菓堂) 石井美紀(鎌倉トッパ) 大島玲子(御成不動産) 森裕美(リンクコンサルティンク)

ゆみ中医漢方クリニック 漢方婦人科 漢方思春期婦人科 漢方不妊治療婦人科

訪問診療・往診 医)湘南友和会 さとうクリニック 認知症対応 訪問看護

窓の棲み家を考える 窓のない家を造る事は法律的にもできません。人が生活する上で光や風を取り入れる事が大切だからです。